

I 調査結果の概要

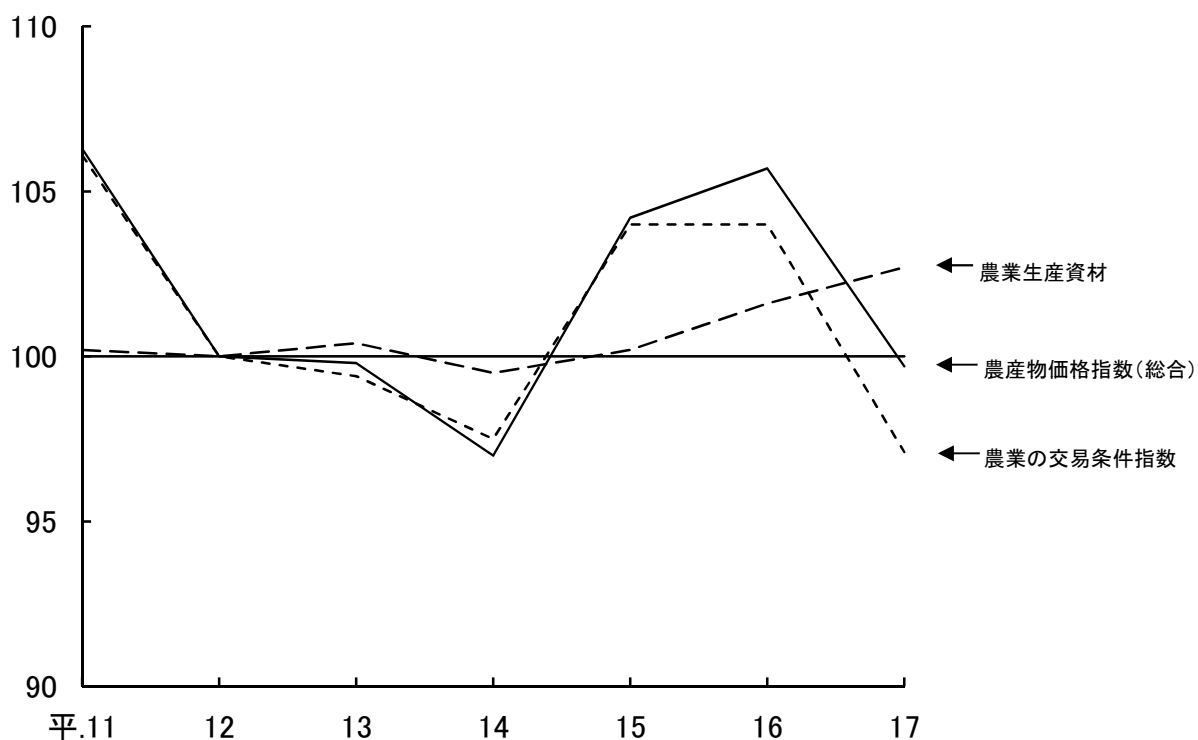
1 農作物価指数

(1) 概況

平成17年の農産物価格指数（平成12年を100とする。以下同じ。）の総合は99.7となり、前年に比べて5.7%低下した。また、農業生産資材価格指数の総合は102.7となり、前年に比べて1.1%上昇した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は97.1となり、前年に比べて6.6%低下した。

図1 農作物価指数の推移(平成12年=100)



第1表 農作物価指数の推移

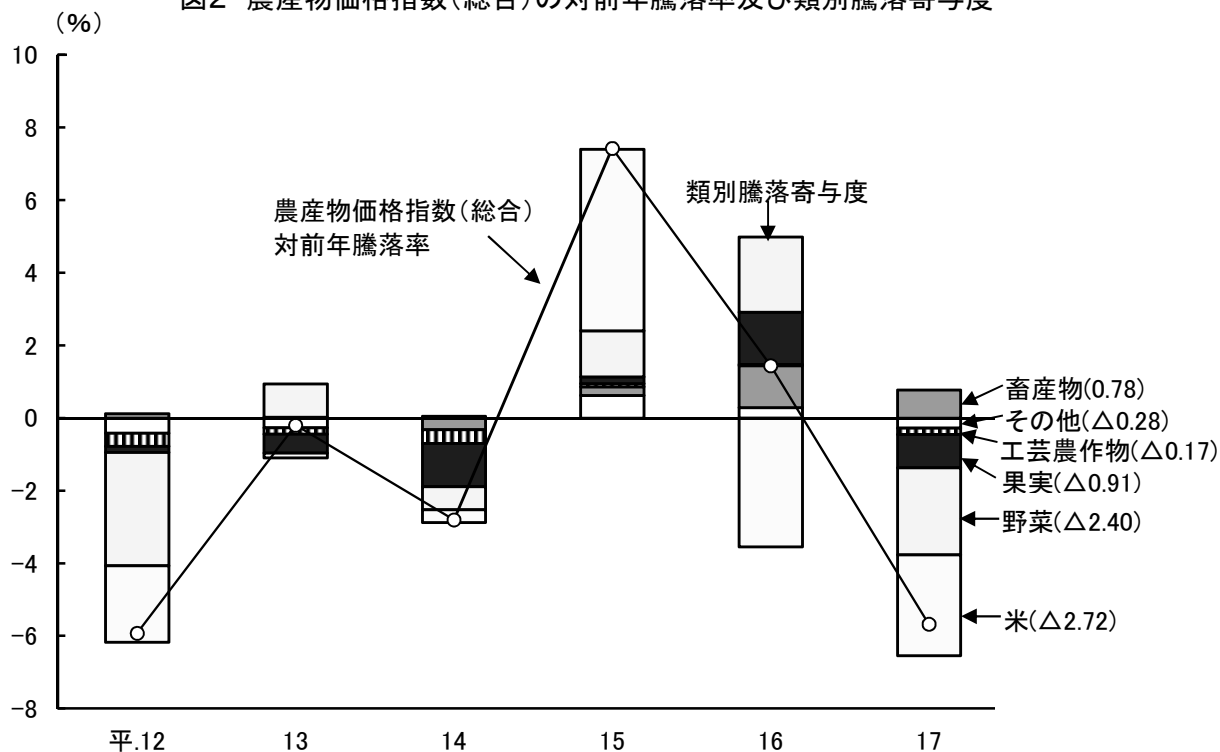
区 分	平成12年=100							
	平. 11	12	13	14	15	16	17	
農産物価格指数(総合) ①	106.3	100.0	99.8	97.0	104.2	105.7	99.7	
農業生産資材価格指数(総合) ②	100.2	100.0	100.4	99.5	100.2	101.6	102.7	
農業の交易条件指数 ①/②×100	106.1	100.0	99.4	97.5	104.0	104.0	97.1	

(2) 農産物価格指数

平成17年の農産物価格指数（総合）は99.7となり、前年に比べて5.7%低下した。

これは、畜産物の価格は上昇したものの、米、野菜及び果実の価格がそれぞれ低下したことによる。

図2 農産物価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものである。

ア 米

米は91.9で、前年に比べて10.3%低下した。これは、17年産米の収穫量の増加等により、価格が低下したことによる。

イ 野菜

野菜は104.7で、前年に比べて9.1%低下した。これは、前年が台風の被害等により、野菜類全般で出荷量が減少し、価格が高かった反動による。

ウ 果実

果実は90.7で、前年に比べて8.9%低下した。これは、みかんが表年で出荷量が増加し価格が低下したほか、前年が台風の影響により、果実全般に出荷量が減少し価格が高かった反動による。

第2表 農産物価格指数の推移

平成12年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率(%)		騰落寄与度(%)	
		平.16	17	平.16	17	平.16	17
農産物総合	10 000	105.7	99.7	1.4	△ 5.7	1.44	△ 5.68
米	2 737	102.4	91.9	△ 11.6	△ 10.3	△ 3.55	△ 2.72
麦	189	89.4	89.3	△ 5.3	△ 0.1	△ 0.09	△ 0.00
豆	99	113.9	108.0	12.3	△ 5.2	0.12	△ 0.06
いも	166	105.0	112.1	△ 1.0	6.8	△ 0.02	0.11
野菜	2 420	115.2	104.7	8.4	△ 9.1	2.07	△ 2.40
果菜	1 215	105.5	102.0	1.5	△ 3.3	0.19	△ 0.40
葉茎菜	824	129.0	110.9	18.6	△ 14.0	1.60	△ 1.41
根菜	307	113.7	96.5	5.3	△ 15.1	0.17	△ 0.50
まめ科野菜	74	128.2	112.4	15.6	△ 12.3	0.12	△ 0.11
果実	1 083	99.6	90.7	16.1	△ 8.9	1.43	△ 0.91
工芸農作物	513	91.7	88.1	0.9	△ 3.9	0.04	△ 0.17
花き	678	109.9	104.7	4.0	△ 4.7	0.27	△ 0.33
畜産物	2 103	105.4	109.3	5.7	3.7	1.15	0.78
鶏卵	178	92.0	109.3	15.7	18.8	0.21	0.29
生乳	834	101.5	100.3	△ 0.5	△ 1.2	△ 0.04	△ 0.09
肉畜	778	107.8	112.2	9.2	4.1	0.68	0.32
子畜	277	118.3	127.1	9.7	7.4	0.28	0.23
成畜	29	110.0	117.2	6.3	6.5	0.02	0.02
繭	7	105.3	113.6	△ 3.6	7.9	△ 0.00	0.01
稲わら	12	99.9	99.7	7.4	△ 0.2	0.01	△ 0.00

注:騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ。)

$$\text{騰落寄与度(％)} = \frac{\text{類}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

エ 工芸農作物

工芸農作物は88.1で、前年に比べて3.9%低下した。これは、茶が値下がりしたこと等による。

オ 花き

花きは104.7で、前年に比べて4.7%低下した。これは、切り花類が値下がりしたこと等による。

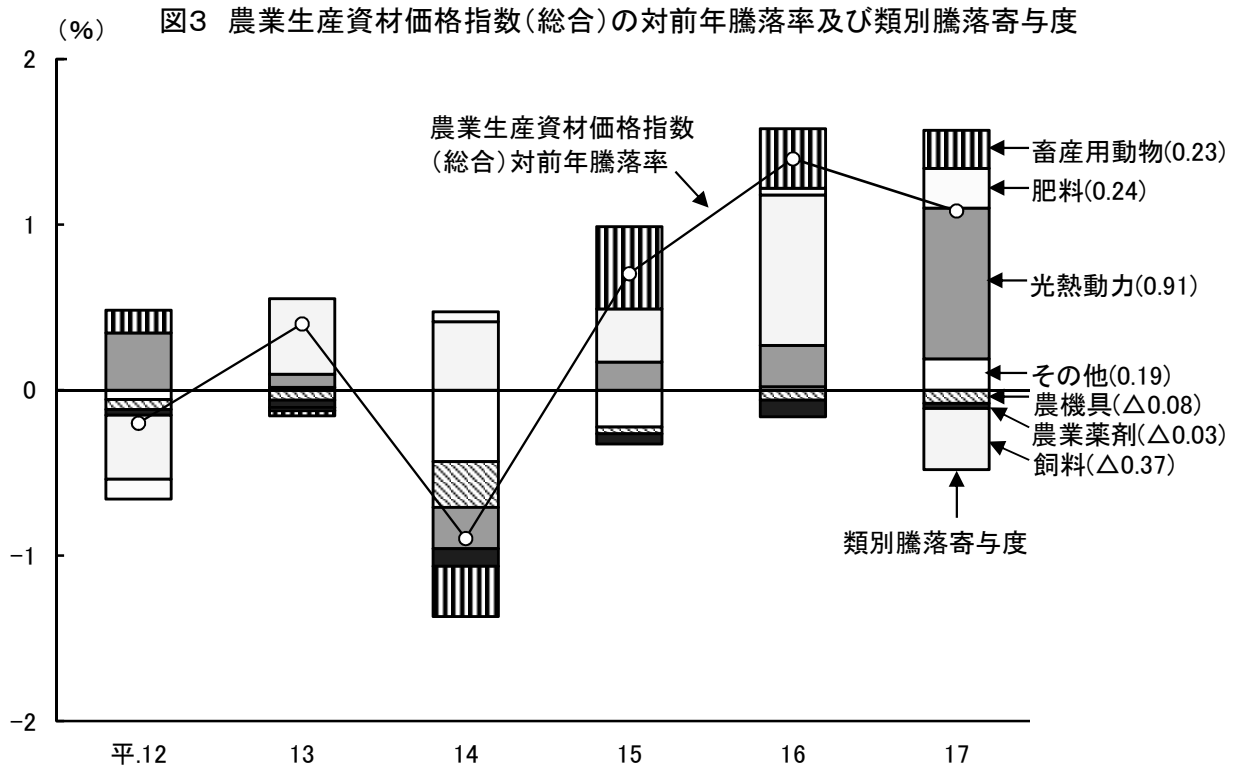
カ 畜産物

畜産物は109.3で、前年に比べて3.7%上昇した。これは、出荷量の減少により鶏卵価格が上昇したほか、米国産牛肉輸入の停止により肉用牛などの価格が上昇したことによる。

(3) 農業生産資材価格指数

平成17年の農業生産資材価格指数(総合)は102.7となり、前年に比べて1.1%上昇した。

これは、飼料、農機具及び農業薬剤の価格は低下したものの、光熱動力、肥料及び畜産用動物の価格が上昇したことによる。



注：騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものである。

ア 畜産用動物

畜産用動物は117.0で、前年に比べて4.7%上昇した。これは、肉用牛子牛等の価格が上昇したことによる。

イ 肥料

肥料は103.2で、前年に比べて2.4%上昇した。これは、輸入原料価格が上昇したことによる。

ウ 飼料

飼料は112.5で、前年に比べて2.3%低下した。これは、外国産穀物相場が低下したこと等による。

エ 農業薬剤

農業薬剤は96.1で、前年に比べて0.4%低下した。これは、メーカー出荷価格が低下したことによる。

第3表 農業生産資材価格指数の推移

平成12年=100

農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率 (%)		騰落寄与度 (%)	
		平.16	17	平.16	17	平.16	17
農業生産資材総合	10 000	101.6	102.7	1.4	1.1	1.40	1.08
種苗及び苗木	585	101.1	101.5	0.5	0.4	0.03	0.02
畜産用動物	443	111.7	117.0	7.8	4.7	0.36	0.23
肥料	1 014	100.8	103.2	0.4	2.4	0.04	0.24
飼料	1 383	115.2	112.5	6.1	△ 2.3	0.91	△ 0.37
農業薬剤	884	96.5	96.1	△ 1.1	△ 0.4	△ 0.10	△ 0.03
諸材料	764	96.9	97.9	△ 0.1	1.0	△ 0.01	0.08
光熱動力	737	103.4	115.9	3.4	12.1	0.25	0.91
農機具	1 990	97.8	97.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.06	△ 0.08
自動車・同関係料金	509	98.6	99.0	0.1	0.4	0.01	0.02
建築資材	569	95.5	95.6	△ 0.4	0.1	△ 0.02	0.01
農用被服	49	98.2	98.2	△ 0.6	0.0	△ 0.00	0.00
賃借料及び料金	1 073	98.9	99.5	0.1	0.6	0.01	0.06

オ 光熱動力

光熱動力は115.9で、前年に比べて12.1%上昇した。これは、原油価格が上昇したこと等による。

カ 農機具

農機具は97.4で、前年に比べて0.4%低下した。

2 農業臨時雇賃金指数

平成17年の農業臨時雇賃金指数は、男は100.0（1日当たり8,653円）、女は100.5（1日当たり6,527円）となり、前年に比べて男は同水準、女は0.1%の上昇となった。

第4表 農業臨時雇賃金指数の推移

平成12年=100

年次	男			女		
	指数	対前年騰落率	全国平均賃金	指数	対前年騰落率	全国平均賃金
		%	円/日		%	円/日
平. 12年	100.0	△ 0.9	8 652	100.0	△ 0.2	6 495
13	100.1	0.1	8 659	100.2	0.2	6 506
14	100.1	0.0	8 663	100.3	0.1	6 517
15	100.2	0.1	8 671	100.4	0.1	6 522
16	100.0	△ 0.2	8 649	100.4	0.0	6 520
17	100.0	0.0	8 653	100.5	0.1	6 527